

# 研究学園都市周辺，地質の見どころ (その1)

坂本 亨(地質部)・正井義郎(総務部)  
Toru Sakamoto YOSHIRO MASAI

筑波研究学園都市をのせている筑波台地。その台地を構成している第四紀層を見たい……ということでしたら 第四紀層の上部の方だけですが 今のところ一番よい見学場所は 牛久町正直の土採り場でしょう。 昨年までは常磐高速道路が工事中で その切割りに連続的な露頭が見られたのですが、

正直の土採り場では 上から

- ・関東ローム層：無層理・赤褐～暗褐色の風化火山灰層
- ・常総粘土層：火山灰が水中で風化してきた灰色粘土層
- ・龍ヶ崎砂礫層：古東京湾が陸化した後 当時の鬼怒川が氾濫してつくった河成層

・成田層：当時 関東平野一帯に広がっていた古東京湾に堆積した浅海成砂層

と 一揃いの地層がよく見られます。成田層には保存のよい貝やウニの化石も多いので 化石採集にも好適です。ただし雨の後ではぬかるみがひどいので 足ごしらえには気を付けましょう。

また この付近では 正直の十字路を右折した台地上で 河成の龍ヶ崎砂礫層が欠如して 台地直下まで浅海成の成田層が発達している露頭もあります。



写真1 正直の採土場 南側

写真2 いきなり露頭へとりついて 叩く・削るというのは…… まず全体の状況をじっくり観察して、





写真3 露頭の上半部 人物より上方で白く横へつづいて見えるのが東京軽石層 約5万年前の箱根火山の噴出物です。

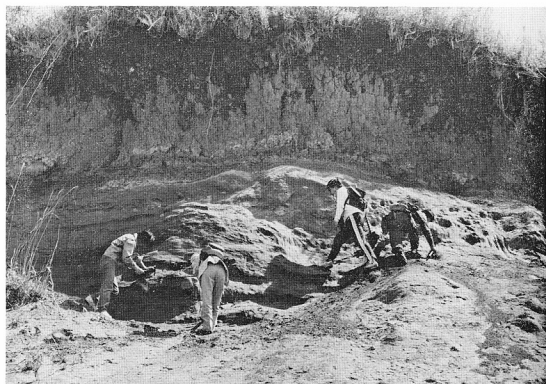


写真4 同上 左の2人がたたいている付近が龍ヶ崎砂礫層、 右の2人の頭くらいが常総粘土層。

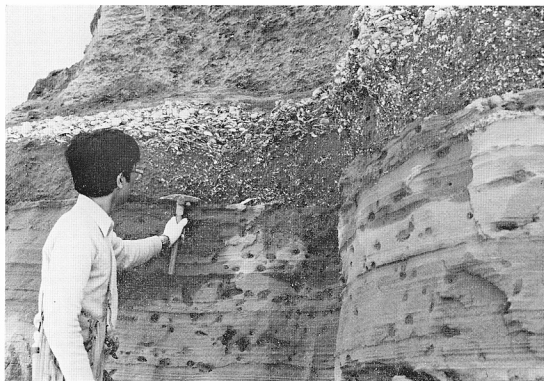


写真5 成田層上部の化石密集層。 それより下の砂層中にもパイプ状生痕が多い。



写真6 きれいな化石が沢山とれます。 多いのはサラガイ・バカガイ・カシバクニなど、  
大ものではミルガイ、アカシシなど。

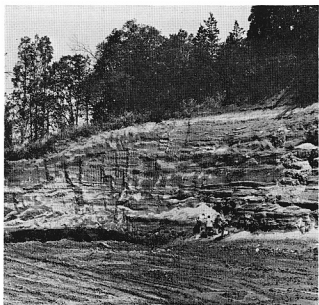


写真7・8 土採り場はまだ北の方へ広がっていきます。当分露頭がなくなる心配はない……。

